



シリーズ

武雄の治水

vol.33

～水と共に生きるまちへ～

今回のテーマは

令和6年出水期の振り返り

出水期とは、雨期から台風シーズンまでの雨が多い時期のことですが、昨年は11月にも雨が降りました。昨年の出水期を振り返ります。

令和6年出水期の振り返り

全国的には、台風10号の影響により、8月27日から9月1日にかけて西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、宮崎県では竜巻とみられる突風の被害が発生しました。また、9月21日から22日にかけて、秋雨前線や低気圧の影響により、石川県能登半島北部で記録的な大雨が降りました。輪島市では時間雨量122mmの豪雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害が発生し、多くの尊い命が失われました。元日に発生した能登半島地震からの復興道半ばでの水害による被災に対し、心よりお見舞い申し上げます。



▲輪島市町野町
【石川県ホームページより】

武雄市で降った雨は？

令和6年の出水期は、武雄市では幸いにも大きな災害は発生しませんでした。7月1日に24時間で110mmの雨が降り、橘町や北方町で道路冠水が発生しました。日中の豪雨であったため、一部の小学生の下校に影響がありました。

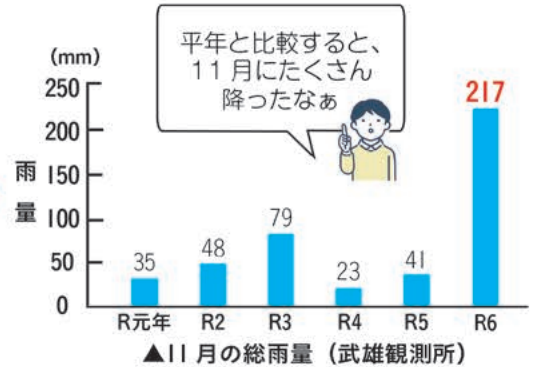
出水期を通してみると、8月以降は雨の少ない月が続きましたが、11月には平均を大きく上回る雨が降りました。11月2日に24時間で117mmの雨が降り、日雨量としては令和6年で最大となりました。

【7月1日の市内の状況】



年	月総雨量 (mm/月)						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
令和元年	53	167	491	679	138	103	35
令和2年	182	547	856	138	392	63	48
令和3年	321	179	136	1,362	155	7	79
令和4年	49	233	134	239	262	45	23
令和5年	338	339	398	178	143	36	41
令和6年	210	350	484	110	106	109	217
過去15年の平均値	167	318	398	351	214	109	95

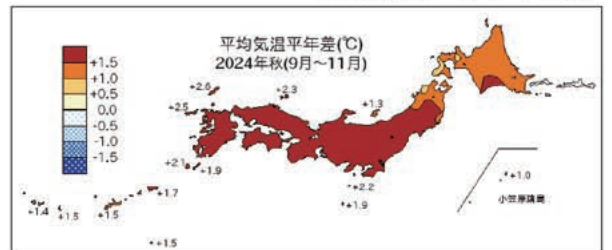
※雨量は、武雄観測所(国土交通省所管)で観測された数値を使用しています。令和5年以降の数値の一部は暫定値のため、今後変わる可能性があります。



最も暑い秋

気象庁によると、令和6年の秋(9～11月)は、日本の平均気温が平年より+1.9℃となり、これまでに最も高かった令和5年を大きく上回り、統計を開始した1898年以降の秋として1位の高温となりました。また、降水量は、北日本太平洋側で少なかった一方で、東日本日本海側と沖縄・奄美で多くなりました。これは、高い海水温の影響で、より多くの水蒸気が供給され雨雲が発達しやすい環境が整っていた可能性もあるとのことです。

▼【気象庁ホームページより】



武雄市で、11月に雨量が多かったのも、その影響かな？

NEWS

防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄を開催します！

日時：1月26日(日) 13:00～17:00 場所：北方公民館
 入場料：無料 ※申込不要



詳しくは まちづくり部 治水対策課 ☎0954-27-7097

シリーズ武雄の治水 バックナンバーはこちらから▶

